



朋がらよひたに進まん



2 学年通信 第 8 号

山梨県立甲府南高等学校

第 2 学年 (文責: 植松)

令和 4 年 9 月 1 3 日 発行

特集： 平和講話『牛島満と沖縄戦』 ～ 修学旅行事前学習 ～

8 月 26 日 (金) 6・7 校時 本校視聴覚室 (HR 教室でのリモート視聴を併用しながら入れ替えて全生徒が直接講話を聴きました)

講師：牛島 貞満 (うじまさだみつ) 先生 牛島先生の祖父は沖縄戦第 32 軍〔沖縄守備隊〕軍司令官だった、牛島満中将です。41 歳から沖縄で祖父の足跡を調べ始め、沖縄戦研究者や体験者、生前の祖父を知る方々を取材し、沖縄戦、基地問題、国際情勢を切り口に戦争と平和の実態を伝える授業や活動を続けています。

●2231 望月愛姫さん

住民は本当に何も知らず、何も悪いことをせず、ただ死んでいったのだなと思い悲しく感じた。また、住人に対する洗脳がすさまじいと思った。もっと早く日本が降伏していたら、日本政府に変なプライドがなかったら、このような悲惨な状況にはなっていなかったのかもしれない。日本は唯一の被爆国として被害者ぶっているが、日本軍などという小さな単位で考えれば、立派な加害者だと思う。戦争は、国民全体のほんの一握りの支配階級で行われ、その犠牲の多くはその他大勢の一般市民である。私たち一般市民からすれば絶対戦争は行うべきではないと思う。今回の講話を聴いて、ロシアのウクライナ侵攻だけでなく、地球規模で行われているすべての戦争が無くなればよいと思った。



●2325 中原翔太さん

沖縄戦について、ここまで詳しいことは今回初めて知ったし、とても興味深いものだったという印象がある。今回の講話では、なぜ沖縄が戦場になったのか、日本の視点、米国の視点それぞれを知れたが、それが自分の中では最も印象に残っている。日本の目的は本土決戦までの時間稼ぎ、米国はロシアや中国に近く、本土から少し離れていたため、基地を置きたかったというものだった。もし、本土決戦となれば、関東では 4 人に 1 人が亡くなっていたかもしれない。それを避けるため沖縄への米軍上陸を許したのは、理解はできるが私には納得ができない。戦争は命の価値がわからなくなってしまう最悪な出来事。今回の話を聞いて、この考えが自分の中でより強くなった。

●2511 河西 凜さん

沖縄戦を体験した安里さんの話を、実際の声と映像で聞くことができよかった。本で読んだりテレビで見たりすると、実際に講義をしていただくのでは、受け取る印象の強さは全く違うと思った。戦争の様子はどれも印象に残ったが、私は特に、安里さんたちが隠れていた壕にアメリカ軍が大勢来て、日本人を助けている様子が印象的だった。国同士は対立しているけれど、その国を構成している人、一人一人の単位で考えると、目の前にいる人が敵国の人でも手を差し伸べ、手を掴むことができるのだなと感じた。当時は日本人、アメリカ人とともに互いの言語を話すことができなかつたはずだが、それでもアメリカ軍の兵士がどういう気持ちで沖縄の住民を見ていたのか気になった。今のロシアとウクライナの戦争も、戦場を離れば同じように国同士は敵対しているけれど、人としては手を取り合い助け合っているような状況が、思ったよりも多いのかもしれない。そういう人たちがいたとしても、国は戦争をやめてくれないし、相手を殺せと命じるかも知れない。そう考えると戦争は、はじめてはいけないうのだと強く思った。自分が戦争のない未来に生きられるように、もっと戦争について知り、行動していきたい。



●2427 内木 希さん

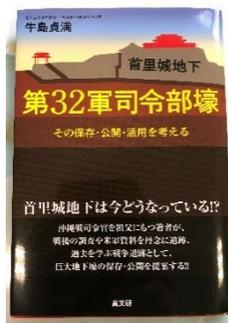
私も牛島さんと同じく祖父に会ったことがないけれど、その祖父がどんな人か知らないし、知ろうとも思ったことがなかった。だから、軍司令官であった祖父の足跡を調べ、取材や講演をするという行動力が凄いなとまず思った。妹を背負って逃げた安里さんの「私たちを捕虜にして救出する」という言葉が印象的だった。敵が助けてくれるというのは、戦場において相当な驚きなのだと思う。今まで沖縄戦について調べてきて、私は司令官の自決は逃げたと思っていた。でも、逃げるというより、大義に生きたということが分かった。大城みなみさんのおばあちゃんが背負っていた弟の上半身が亡くなっていたという話を聞いたときはぞっとした。はじめは理解ができなくて、実際に艦砲弾の破片を触らせてもらったり、牛島さんの解説を聞かせてもらったりして想像すると鳥肌が立った。気付かない位逃げるのに必死で、砲弾が3cmでも前を通っていたら自分が変わりに死んでいたと考えると恐怖でしかない。

写真：艦砲弾の破片を手にとって確認する生徒 ⇒



●2621 田中未夢さん

今回の講演で、事前学習でも学べなかった貴重な話を聴くことができ、沖縄戦がいかに凄惨だったか改めて知ることができた。牛島さんが持ってきてくださった鉄片を持った時、想像を絶する重さで、これが飛び交う中逃げるのがどれほど危険か思い知らされた。沖縄戦が、本土決戦のための「持久戦」というところに胸が痛んだ。本命の戦のための捨て駒のように思えて、沖縄戦に巻き込まれた方々の命を軽んじているような気がして、悲痛でならなかった。戦争の無意味さを痛感した。また、日本軍があてにならず、逆に米兵の方が救助をしてくれたり、戦争に無関係な人に対してまだ人間らしく接していたのだということに驚いた。信用していた自国の人々に裏切られて、恐れていた敵国の兵に助けられるとは、何とも皮肉なものだと思った。牛島さんがおっしゃっていた「戦争は人を変えてしまう」ということが非常に印象深かった。戦争で大切な人や物を失ったり、自分自身も人を殺めて苦しんだり、戦争の影響は凄まじく、もう二度と起こしてはならないと思った。今もお世界のあちこちで武力による解決に頼っているところもあるが、対話で解決ができる世界にならう、我々が尽力していかなければいけないと改めて感じた。



牛島先生か書かれた書籍を寄贈してくださいました ⇒

写真奥：修学旅行委員会委員長の6組小林大暁君から先生へお礼の言葉 ⇒

●2108 黒沢春奈さん

今まで実際にこういったお話を聴く機会はなかったのですがとても貴重だったと思う。テレビや新聞で知ったことよりも、本当に悲惨な状況が日本で起こっていたのがより伝わってきた。沖縄にやってきた日本軍が住民をないがしろにしていたことや、住民を守らずに兵士よりも多くの犠牲者が住民から出たことに驚きを感じた。実際に砲弾を持ってきて、思った以上に重く、スピードある中で様々な方向から鉄の雨と呼ばれた砲弾が向かってきたことを想像すると、本当に怖くなった。こんなにひどい状況が沖縄で起こったのも、本土を守るための作戦の一部であったと知ったが、たとえ国を守るためでも、その一部を犠牲にするような戦争は起こしてはいけないと改めて感じた。また、もし8月15日に敗戦を認めていなかったら、いま生きている人もいないかと思うと、とても怖くなった。平和の大切さを改めて知る機会ができたことに感謝したい。



写真：山梨日日新聞令和4年9月8日(水)付 17面より引用

関東大会出場選手の声

第41回関東高等学校弓道個人選手権選抜大会 in 明治神宮

2638 山本夏未さん (弓道部)

私は先日行われた関東個人選手権選抜大会に、山梨県代表として出場してきました。関東大会 in 明治神宮 (9月3日) に向けた真夏の稽古では、顧問の奥山先生、雨宮先生、志村先生に指導していただきながら、自分のできていない部分を改善できるよう一生懸命取り組みました。一人で出場する心細さや、試合でよい射をすることができるか不安もありましたが、部員の皆や、先生方の応援のお陰で、精一杯頑張ることができました。試合では、予選敗退と良い結果を残すことはできませんでしたが、弓道の聖地のひとつでもある明治神宮の弓道場で、近隣の精鋭選手たちと肩を並べて弓を引くことができ、とても貴重な経験になったと思います。今回の大会で感じた悔しさを忘れず稽古に励み、関東で経験したことを今度は絶対に弓道部の皆とともに味わえるよう、引き続き精進していきたいです。応援ありがとうございました。

令和4年の夏 学習行事を振り返る ～実習・講座・学習会に参加した生徒たちの声～

◆ 普通科 登校学習会に参加して（校内実施：8/1～5） ※登校学習会を終えて意見や要望

朝8:30～夕方16:30までの1日6時間50分、5日間で最長34時間余りの学習機会に、本年度は参加対象となる2346組159名のうち、のべ68名（42.7%）が希望しました。（以下アンケート回答）

予想以上のスピードで課題が進んだので、ぜひ来年も開催してほしいです。／午後の時間がもう少し多くても良いと感じた。／夏休み前半以外にも後半にもあって欲しい。／トータルの勉強時間は良いが、1コマの時間をもう少し短くしてほしい。／1コマを100分ではなく、間隔を短くしてトータルは同じにするとよい。／1コマの時間が長いと集中力が続くようコマ数を増やして1コマの時間を短くした方がいいのではないかと思います。／チューターの方の部屋が遠く質問に行くのに抵抗がありました。／文系のチューターさんが来てくれるとより良かったです。／クーラーの効きが良すぎて寒かったり、逆に暑かったりと調節が難しかったです。／自分のHR教室も利用できるとよかったです。／ ※来年度の実施に向け参考にさせていただきます

◆ 理数科・理数クラス 宿泊学習会に参加して（西湖：8/1～5） ※宿泊学習会を終えて感想・自由記述

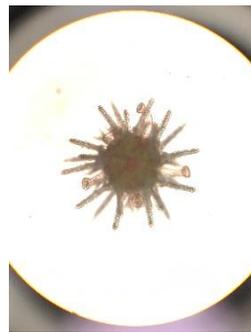
3年振りに3学年揃って西湖（HAMAYOU リゾート『光風閣くわるび』）にて行われた宿泊学習会には、15組の生徒63名が参加してくれました。午前8:15～12:20、午後13:30～17:15、夜19:30～22:45の、1日10時間20分の学習時間を基本に4泊5日の行事を無事終えることができました。（以下アンケート回答）

来年も参加したい（多数）／学習の濃さを味わえ、家でのやる気も上がったのでよかったです。／おおむね良好、だいたい達成できた。／とても良かった。／質問いっぱいできて良かった。／少なくとも去年よりは勉強に打ち込めた。／行きたくないけど行かないと宿題が終わらないので行くしかないと言う状況が悔しい。／5人で1部屋が多少狭く感じました。／夜の就寝時間とお風呂の時間がもう少し長いとありがたいと思いました。／睡眠時間を長くしてほしい。／自分のやることを決めて普段よりも集中して長時間の学習にのぞめた。／時間割の1つの時間が長すぎて私も周りの人も集中力が切れていたため、60分くらいで区切り、それを何回もやるべきだと思いました。／女子には夕食から入浴にかけての時間が短く感じた。かなりぎりぎりになってしまったので、髪を乾かす時間も含めてもう少し検討してほしいと感じました。 ※貴重な意見を有難う

◆ Frontier 探究Ⅱ SSH 校外研修 臨海実習（千葉・館山：7/24～26）

【2114 坂本惺菜さん】

県外の海辺に寝泊まりして、貴重な活動をさせていただいた先生方、施設の方々に本当に感謝しています。研修は、事前に話されていた物以上に想像できなかった程、楽しく興味深い学びを得られました。海ほたるを取った時の美しさは忘れられない上に、そのあとの電気実験も、光らせたら更に綺麗で、自然のものにあんなに圧倒されるなど思ってもいませんでした。また、磯採集で、座学で得た知識を見て、触れて、実感できたり、海藻の種類の多さに驚いたり、すべて生物は海から発生したということが改めて身に染みて納得できました。そして、3日間を通してウニの発生を直接見られたことに一番感動しました。自分で受精させて、30分おきに「もう変わってる！」と成長の著しさに、生命の凄さを実感しました。他にも、本当にすべて素晴らしい経験をさせていただいたので、今後の生物を見る目や勉強に生かしたいと思います。



◆ Frontier 探究Ⅱ 「医学部講座」(山梨大学医学部キャンパス他：8/17・18)

【2526 内藤慶太さん】

今回、医学部講座に参加してみて、様々な専門分野の先生方のお話を聴くことができ、自分の興味のある分野はどんな分野なのかを深く知り、考えることができたとともに、研究医とはどのような存在かを知ることができた。特に、どの科の先生も新型コロナウイルス関連の研究について深く教えていただき、医師にとって専門分野にとらわれず、幅広い分野へ知識を広げることが重要なのだと学ぶことができた。中でも興味深かったのは、「生体防御の観点からは解熱剤は良いとも言い切れない」「光学顕微鏡は神経の活動をカルシウムイオンの働きとして見る」という内容だった。講座の場ではお聞きすることができなかったが、「HIV 患者は新型コロナウイルスに感染すると重症化しやすいのか？」ということが疑問に残った。今回講義をしてくださった先生方、お忙しい中本当にありがとうございました。

◆ Frontier 探究Ⅱ SSH 神岡研修 (スパー・カミカデ・京都大防災研究所 リモート講義：7/26・27)

【2532 廣田乃亜さん】

「素粒子を知ればすべてのことが分かるかもしれない」という部分には大変ロマンを感じた。なんで宇宙ができたのかや、どのようにして終るのかを知るのに、もしかしたら最も近い学問なのかもしれない。個人的には、ヒッグス粒子がどのようにして質量を与えているかがとても気になった。ニュートリノのことについてはどうして存在しているのか分からなく、面白いと思った。それらのおかげで何かしらの法則が生まれたなら、ニュートリノを含む素粒子の標準模型の表は元画期的なものになるかも知れない。そうしたら元素の周期表よろしく、もっと様々な法則が芽づる式に見つかっていく可能性を感じた。

【2136 宮沢和花さん】

私は、災害についてあまり深く知りませんでしたが、ニュースなどで被災現場の光景を見たり、今回どのように防ぐのかなど、詳しく知ったりすることができました。砂防堰堤のなかにも種類があり、鉄パイプでできた格子型砂防堰堤はその組み立てられた間に土砂がたまって防げることが分かり、小さな隙間にも小さな砂や魚が通り抜けることができるので、環境にも優しいと知り凄く驚きました。しかし、たまってしまった砂や岩は模型では自然になくなっていくそうですが、実際の設置場所では堆積物を人の手でどけなければいけないと聞き大変な作業だと感じました。どけた土砂は、その堆積場所にも苦慮するそうなので、法律が改正されて土木の材料などにできたら自然にも優しく SDGs にも繋がると思いました。

9 月下旬～10 月上旬の予定

9月14日(水)	バイク通学許可式	9月23日(金)	秋分の日
16日(金)	小論文ガイダンス(67校時)		理数科説明会(本校：午前中)
17日(土)	土曜課外(15組)・土曜学習会(2346組)	28日(水)	来年度科目【仮】登録票提出
	F探究(DNA講座：午後)	29日(木)	定期試験(1日目)
18日(日)	F探究(DNA講座：午前)	30日(金)	" (2日目)
19日(月)	敬老の日	10月3日(月)	" (3日目)
21日(水)	月曜授業・マナーアップ運動	4日(火)	" (最終日)
	P T Aあいさつ運動		生徒会新役員認証式・納め式
22日(木)	第3回定期試験時間割発表	7日(金)	職業人講話・進路希望調査
	試験1週間前・放課後学習会(～28まで)	8日(土)	駿台模試(希望者：終日)

★ 9月のスクールカウンセリング 9/14(水)・21(水)・28(水) ★